

## 研究課題の名称

非小細胞肺癌における化学療法と免疫チェックポイント阻害剤の併用に関する多施設共同後ろ向き観察研究

## 研究の目的及び意義

目的:薬物療法の対象となる未治療IV期非小細胞肺癌患者に対し、実臨床の場においてどのような治療選択が行われているのか、そしてそれらの治療が行われた結果、安全性と有効性はどうであったのかをレトロスペクティブに解析すること。

## 研究対象者の選定方針

### 選択基準

- 1) 病理学的に診断された未治療のIV期非小細胞肺癌患者  
(術後再発、根治的胸部照射、根治的化学放射線療法後の再発および先行するチロシンキナーゼ阻害剤の治療歴、緩和照射後の患者は許容する)
- 2) 2019/ 1 / 1 ~ 12/31 までに初回治療として①プラチナ併用化学療法土ベバシズマブ(抗VEGF抗体) ② ペムプロリズマブ③カルボプラチン+パクリタキセル+ペムプロリズマブ④シスプラチン(またはカルボプラチン)+ペメトレキセド+ペムプロリズマブ⑤カルボプラチン+パクリタキセル+ベバシズマブ+アテゾリズマブ、のいずれかの治療が開始された患者
- 3) 予定研究対象者およびその設定根拠
- 4) 400 例( 1 年間に 1 施設から予想される患者数)

## 研究予定期間

倫理委員会承認時から 2 年間 (2019 年 9 月 3 日から 2021 年 9 月 3 日まで)